主催：キハ２００４号を守る会

キハフェスタ２０２６

【開催時間】

11月14日（土）
11:00〜15:30

11月15日（日）
10:00〜15:30

受付は開場30分前から15:00まで

集え！すべての鉄道好き！

異郷の地にやってきた当会のキハ２００４号
見て！触って！楽しめる！

こんな列車乗ったことないちびっこも
かつてこんな列車が生活の足だった人も
どんな方でも見にきてください！

保存活動のための寄附金
おひとり500円で入場できます！

中学生以下の方には
限定グッズを
進呈♪

イベント内容

車内公開・きっぷ作り体験・グッズ販売
乗車体験・写真撮影等

金田車両基地内を走行します！





運転席に座って写真を撮ろう！
今日から君も運転士！



開催日時
2026年11月14日（土）15日（日）

開催場所
平成筑豊鉄道金田車両基地構内

キハ 2004 号について

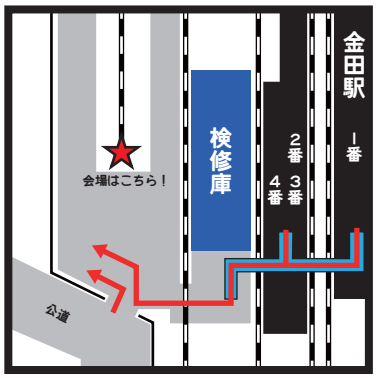


キハ 2004 号は 1966（昭和 41）年、北海道向けの国鉄キハ 22 形をベースに炭鉱輸送を担う「留萌（るもい）鉄道」に導入されましたが、石炭の斜陽化に伴い 3 年後に運行を休止。新製まもない同車は関東の茨城交通へ譲渡され、その後発足したひたちなか海浜鉄道時代に、懐かしい「準急色」に塗り替えられ、2015（平成 27）年まで活躍しました。引退後は、当会がクラウドファンディングで輸送費を集め、平成筑豊鉄道の土地をお借りし保存しています。この車両の特徴は、ディーゼル車の起源ともいえる戦前設計の「DMH17 型」エンジンを搭載していることと、かつて九州で活躍した準急「ひかり号」の塗装をまとっていることです。起動すると「カランカラン」と、どこか懐かしい鼓動を響かせて走行します。多くの皆さまに、この生きた車両に見て、触れて、乗っていただき、興味を持っていただけることを守る会一同、願っております。



前田会長あいさつ

ネット募金で 2016 年に 890 万円、2026 年に 600 万円と、国内外の多くの皆さまにご支援頂き、改めて御礼申し上げます。この車両が金田へ来て 10 年が経ちましたが、コロナ禍もあり補修も万全ではなく、車体も傷みが目立ち始めました。私は長年、鉄道車両整備を行いましたが、とても 1 人でできるものではありません。現在、守る会には実際の鉄道職員の方や学生さんまで、幅広い年代の、鉄道好きの皆さまが集い、この車両を維持しています。鉄道知識はなくとも、興味のある皆さまが議論し、知識を共有するその繰り返しで、60 年も前に造られたこの車両は、今でも走ることができています。決して敷居は高くありません。興味を持った多くの皆さまに参加していただき、次世代にこの知見を伝えていく。その結果、へいちく沿線の地域活性化につながれば。その思いで私どもは今日も、キハ 2004 号を走らせています。これからも応援お願いします！



アクセス

・平成筑豊鉄道にてご来場の方は金田駅ホーム端にある水色の歩道橋から左の地図の矢印のルートをお通りください
・それ以外の方は公道から入り左手の方へお進みください

（所要時間）
・直方駅から平成筑豊鉄道伊田線にて約 22 分
・JR 小倉駅から JR 鹿児島本線・JR 筑豊本線・平成筑豊鉄道伊田線を乗り継いで約 1 時間 20 分
・JR 博多駅から JR 福北ゆたか線・平成筑豊鉄道伊田線を乗り継いで約 1 時間 40 分

平成筑豊鉄道は通常どおり営業中です
構内は入換車両等が走行しており危険な場所もございますので
くれぐれも**ご注意**ください

お問い合わせ
キハ２００４号を守る会　会長 前田　忠　Mail：hikaridc20-04@yahoo.co.jp
※本件についてのお問い合わせは、平成筑豊鉄道ではお答えできません。
instagram @kiha2004_kanada　Facebook https://facebook.com/HEICHIKUkiha

イベント当日にスタッフが撮影した写真は、当会の広報活動で使用することがありますので、あらかじめご了承ください。